

事業所名

放課後等デイサービスじよいなす

支援プログラム

作成日

2024年

10月

26日

法人（事業所）理念		私たちは次の2つの言葉を胸に、この地域に生きる全ての人の、安全な暮らしが保障され、尊厳を持ってその人らしく生きることができる社会を創っていきます。 「生きることが光になる」全ての人は自らの命を通して、人に生きることの尊さを知らせるものであると考えます。 「ほほえむちから」ほほえむちからを、人は誰でも持っています。向かい合う人にほほえむちから、向かい合う人のほほえむちからを大切にします。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常生活や学校におけるカリキュラムに適応できるよう、一人ひとりの障害特性に応じた合理的配慮のもと適切なサービス提供を行います。 ・利用児童の意思および人格を尊重して、常に利用児童の立場に立ったサービスの提供を行います。 ・利用児童またはその家族に対し、サービスの内容および提供方法について、理解しやすいよう説明を行い、同意を得ます。 ・市町、他の居宅支援事業者または地域の関係機関との連携を大切にします。 		
営業時間		10時00分から18時45分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	発達の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化された環境の中で、健康な生活習慣の促進や、健康な心と生活のスキルの獲得を目指します。一人ひとりが健やかな身体と心を持ち、日常生活を自立して送ることができるように支援します。 (取り組み例) 活動場所の構造化・個別スケジュール・家事課題		
	運動・感覚	感覚の敏感さや鈍麻などに合わせた環境調整を行い、姿勢の保持や動作の習得を目指します。また、保有する感覚を十分に活用しながら、感覚を補助したり、代替りの手段となるような補助機器をうまく活用できるように支援します。 (取り組み例) 工作・ねんど・水遊び・公園遊び・ミュージックケア・サーキット運動・タブレットでの動画視聴		
	認知・行動	アセスメントから本人の感覚や認知の偏りを把握し、発達レベルに応じた、教科学習の支援と認知の偏りに対する予防と状況に応じた適切行動への対応ができるよう支援します。 (取り組み例) マッチング・点繋ぎ課題等・事務作業・リサイクル活動・図書館の利用・室内運動		
	言語コミュニケーション	言語のコミュニケーションに限らず多様なコミュニケーション手段を活用して、意思の伝達ができるように本人にあった意思伝達方法を身につけられるように支援します。 (取り組み例) 絵カード交換・文字入力によるコミュニケーション・文字の練習・友達とのお話し		
	人間関係社会性	子ども達にとって安心できる土台がある中で、他者との関わり方や本人が気持ちや情動の調整ができるよう支援します。また、集団に参加するための手順やルールに対する支援を行い、社会生活における適応力がつくように支援します。 (取り組み例) トランプ・カルタ・友達とのおはなし・講座		
家族支援		ご家庭での困りごとや気になる事を共有し、解決策を一緒に考えます。	移行支援	就労につながるような活動に取り組む中で、社会的なルールを知り、日常場面で活用できるように支援します。
地域支援・地域連携		地域の公園や図書館、文化施設を活用することで、多様な学びと遊びの場を得て、子ども達が地域社会とのつながりを深め、自信を持つきっかけを提供します。	職員の質の向上	有識者によるコンサルテーションを受け、プログラム内容の適正を確認するとともに、支援スキルの向上に務めます。
主な行事等		おやつや昼食を作るなどの料理をしたり、季節の工作や、室内運動などのプログラムを提供しています。夏休みにはプールや夏祭りを開催しています。また、外部講師を招き、ミュージックケアも行っています。		